

第63回全国高等学校定時制通信制軟式野球大会

優勝 天理高校(10年連続13回目)

4	10	3	2	4	5	8	9	12	19	10	25	天理高校	近畿・奈良	36
10	9	4	2	7回 コールド	5	8	8	5回 コールド	3	10	25	東京都立稔ヶ丘高校	東京	1 初
10	1	10	8	7回 コールド	4	5	15	5回 コールド	7	6	24	愛知県立愛知工業高校	東海・愛知	4
10	3	8	7回 コールド	3	6	15	5回 コールド	2	15	2	22	茨城県立莚崎高校	茨城	初
10	24	7	2	5回 コールド	1	2	21	5回 コールド	7	20	23	星槎国際高校・福岡中央・通	福岡	岡 3
10	2	7	3	2	7	20	群馬県立前橋清陵高校	北関東・群馬	初					
10	0	5回 コールド	1	2	7	19	宮崎県立宮崎東高校・通	東九州・宮崎	5					
10	24	7	2	5回 コールド	1	2	21	5回 コールド	7	20	23	千葉県立市川工業高校	千	葉 5
10	2	7	3	2	7	19	大阪府立桃谷高校	大	阪 4					
10	24	7	2	5回 コールド	1	2	21	5回 コールド	7	20	23	クラーク記念国際高校・札幌・通	北海道	2
10	0	5回 コールド	1	2	7	19	富山県立雄峰高校	北陸・富山	4					
10	2	7	3	2	7	19	横浜市立戸塚高校	神奈川	8					
10	0	5回 コールド	1	2	7	19	香川県立丸亀高校	四国・香川	2					
10	24	7	2	5回 コールド	1	2	21	5回 コールド	7	20	23	星槎国際高校・東京・通	東京	2 初
10	2	7	3	2	7	19	クラーク記念国際高校・広島・通	西中国・広島	2					
10	0	5回 コールド	1	2	7	19	クラーク記念国際高校・仙台・通	南東北・宮城	2					
10	24	7	2	5回 コールド	1	2	21	5回 コールド	7	20	23	神戸市立楠高校	兵庫	4
10	0	5回 コールド	1	2	7	19	埼玉県立川越工業高校	埼玉	3					
10	2	7	3	2	7	19	沖縄県立コザ高校	沖縄	初					
10	0	5回 コールド	1	2	7	19	秋田県立秋田明德館高校	北東北・秋田	4					
10	24	7	2	5回 コールド	1	2	21	5回 コールド	7	20	23	京都府立朱雀高校	京都	13
10	0	5回 コールド	1	2	7	19	さくら国際高校・通	信越・長野	3					
10	24	7	2	5回 コールド	1	2	21	5回 コールド	7	20	23	岡山県立岡山操山高校・通	東中国・岡山	10
10	0	5回 コールド	1	2	7	19	キラリ高校・通	山静・静岡	岡 初					
10	24	7	2	5回 コールド	1	2	21	5回 コールド	7	20	23	佐賀県立佐賀北高校・通	西九州・佐賀	13

愛知県立愛知工業高校 対 東京都立稔ヶ丘高校

■試合時間 2時間41分 ■備考

中断3分(治療)

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10						計	安	失
愛知工業	東海・愛知	2	0	0	0	0	1	0	1	1	2						7	7	5
穂ヶ丘	東京1	1	0	0	0	0	0	0	1	3	1						6	7	3

愛知工業

ポジション				ポジション 変更の 続きは 右欄へ	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	ポジション				
1	捕		投		伊藤 将宏	5	1	0	1	三振		一邪				二失		三ゴ		三失	ポジション 変更の 続き		補	
2	遊				松山 直紀	3	1	1	0	四球		捕邪				遊ゴ		死球		左安		右		二
3	左				横井 翼	5	1	2	2	中2			三振		捕邪		三振			右安		三		投
4	三	投	補		吉井 巧	3	1	0	1	中犠		一邪		捕邪				一失	四球				投	三
5	一				伊藤 涼太	4	0	1	1	三飛			二ゴ			捕ゴ		左安	中犠					
6	投	三			前田 紅麗	5	0	0	0		中飛			三ゴ		投ゴ		三邪	三振			遊		
7	中				熊澤 祐次	4	0	0	0		三振			三ゴ		二ゴ		三振				左		
8	右				須藤 秀俊	4	0	0	0		三ゴ		三振				捕邪	三振				中		
9	二				可児 怜美	1	0	0	0			三振												
9		二		安藤 寛大	3	3	3	1							左3		中本		中安				右	
合計					37	7	7	6	残塁:5 併殺:															
					備考																			

■ バッテリー

投手
前田 紅 麗
吉井 巧
伊藤 将 宏
吉井 巧
横井 翼
吉井 巧

捕手

捕手
伊藤 将宏
吉井 巧
伊藤 将宏

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
前 田 紅 麗	1	6	1	0	1	0
吉 井 巧	5	18	2	5	4	0
伊 藤 将 宏	1 0/3	5	1	2	0	0
吉 井 巧	1	3	0	1	0	0
横 井 翼	1/3	3	1	0	1	1
吉 井 巧	1 2/3	9	2	2	2	1

稔ヶ丘

[illegible]

■ バッテリー

投手
井口大輔

捕手

捕手
柳澤裕大

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
井 口 大 輔	10	42	7	9	3	5

■ 戦評

開会式直後、神宮球場で行われた東海地区代表・愛知県立愛知工業高校(2年ぶり4回目出場)と東京都第1代表・都立桜ヶ丘高校(初出場)の試合で63回大会の火蓋が切られた。先攻の愛知工業は初回3番横井の適時二塁打と4番吉村の犠飛で2点を先制するがその裏桜ヶ丘も適失により1点を返す。2回以降両チーム無得点であったが、愛知工業が6回に1点、8回に途中出場9番安藤のランニング本塁打で1点、9回にも1点を追加し試合を優位に進める。一方の桜ヶ丘も8回に1点を返し3点差を追う9回裏二死三塁から1番二階堂の適時内野安打と相手の守備の乱れにより3点を奪い土壇場で同点に追いつく。10回表愛知工業は2本の安打と適失で無死満塁の好機を作ると3番横井の前適時安打と5番伊藤(涼)の犠飛で2点を上げる。粘る桜ヶ丘もその裏6番藤本の適時内野安打で1点を返し、なお一死三塁と一打サコナラ的好機を作っても後続が打ち取られ万事休す。7ー6で愛知工業が逃げ切った。一方敗れた桜ヶ丘は56回大会の本塁犠死で同点機を逃したのが何と悔やまれる結果となった。

富山県立雄峰高校 対 クラーク記念国際高校・札幌・通

■試合時間 2時間00分 ■備考 8回コールド

■審判 球審：遠藤 塁審：濱野 谷川 栗村

[illegible]

雄峰

[illegible]

備考

■ バッテリー

投手
窪田 弥 優

捕手

澤村 壯大

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
窪 田 弥 優	8 0/3	37	8	14	8	4

クラーク札幌・通

[illegible]

備考

■ バッテリー

投手
室 山 仁
山 田 天 哉

捕手

岩 本 剛 汰

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
室 山 仁	6	23	4	6	3	1
山 田 天 哉	2	9	1	3	2	0

■ 戦評

1回戦駒沢球場の第1試合は、8年ぶり4回目出場の北陸地区代表・富山県立雄峰高校と2年連続2回目出場の北海道代表・クラーク記念国際高校・札幌・通信制の対戦となった。2回表雄峰は5番野中の二塁打で好機を作ると8番山本が適時安打を放ち1点を先制する。一方のクラーク記念国際・札幌は3回、無死二塁から1番山田の適時二塁打で同点に追いつくとその後相手のミスも重なりこの回計3点を奪い試合をひっくり返す。追いかける雄峰は4回5回6回と走者を出すものの打線がつながらず得点を奪えない。5回と7回到1点ずつを追加工し5-1で迎えた8回裏、クラーク記念国際・札幌は三つの四球で無死満塁とすると9番室山1番山田の連続適時安打などで3点を奪い試合を決め、8回コールド8-1で勝利した。一方敗れた雄峰は主戦窪田が巧みな投球術で14奪三振の力投を見せたが要所で守りのミスが目立ち、無念の敗戦となった。

■試合時間 2時間34分 ■備考

■審判 球審：東原 塁審：谷川 濱野 遠藤

[illegible]

桃谷

[illegible]

備考

■ バッテリー

投手
山田 駿 汰
山 川 翔 生

捕手

捕手
遠山直輝

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
山 田 駿 汰	6	35	10	9	7	7
山 川 翔 生	2	7	0	0	1	0

市川工業

[illegible]

備考

■バッテリー

投手
近藤 真澄
金田 皓平
近藤 真澄

捕手

捕手
菅原優人

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
近 藤 真 澄	6 2/3	31	2	5	9	2
金 田 皓 平	1	9	3	0	3	1
近 藤 真 澄	1/3	6	0	3	2	0

■戦評

1回戦駒沢球場の第2試合は、3年連続4回目出場の大阪府代表・府立桃谷高校と4年連続5回目出場の千葉県代表・県立市川工業高校との対戦となった。先攻の桃谷は初回二死から四球と安打で二三塁の好機を作るとバークにより1点を先制する。その裏市川工業は3番三橋の適時安打などで3点を奪い試合をひっくり返すと、続く2回には5番菅原が3点ランニング本塁打を放ち試合を優位に進める。両チーム1点ずつを加え7-2で迎えた6回、市川工業は5番菅原のこの試合5打点となる適時安打などで2点を追加し7点差とする。追い詰められた桃谷は7回二死一三塁から代打松本の適時安打で1点を返すと、続く8回には1番山川の適時安打や相手のミスにより3点を奪ったが反撃もここまで。市川工業が9-6で逃げ切り、勝利した。一方敗れた桃谷は14四死球を選ぶも13残塁と好機を生かし切れず、無念の敗戦となった。

星槎国際高校・福岡中央・通 対 茨城県立荃崎高校

■試合時間 1時間31分 ■備考 5回コールド

■審判 球審：吉田 塁審：東原 栗村 若山

[illegible]

星槎国際福岡中央・通

ポジション				氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	5	6	7	8				
1	投		遊	結城 淳司	2	1	0	0	三振	三ゴ		四球	死球								
2	遊		三	宮崎 克弥	4	2	1	0	三ゴ		三邪	二ゴ	左2								
3	捕			稲葉 真秀	2	2	1	0	遊安		四球	四球	一飛								
4	一		二	結城 涼司	2	1	0	0	死球		三ゴ	四球	三振								
5	左			木下 聖典	4	2	1	2	投失		三振	遊飛	遊安								
6	三		一	斉藤 光希	2	2	1	1	投失			四球	死球	中安							
7	中			塚本 幸大	3	1	0	0		三振		三振	死球	三振							
8	二	右		原田 紘太	0	2	0	0		四球		四球	四球								
9	右	二	投	岡部 智也	1	2	0	0		三振		死球	四球								
				合計	20	15	4	3	残塁:4 併殺:0												

備考

■バッテリー

投手
結城 淳司
岡部 智也

捕手

捕手
稲葉真秀

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
結 城 淳 司	3	15	4	1	1	1
岡 部 智 也	2	7	1	0	0	0

茎崎

[illegible]

備考

■バッテリー

投手
関口大輝
菊地翔
小林佑企

捕手

捕手
小 林 佑 企
菊 地 翔

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
関口大輝	3	14	1	4	3	0
菊地翔	1 0/3	13	0	1	10	9
小林佑企	1	7	3	2	1	3

■ 戦評

1回戦駒沢球場の第3試合は、3年連続3回目出場の福岡県代表・星槎国際高校・福岡中央・通信制と初出場の茨城県代表・県立荻崎高校の対戦となった。星槎国際・福岡中央は初回、二つの敵失により3点を先制する。2回に1点を返した荻崎は3回にも3番菊地の適時三塁打で1点を奪い1点差に迫る。なお二死二塁の場面で打席に立った荻崎先発の関口が一塁ゴロを放ちベースを駆け抜けた際に足を負傷し、無念の途中交代となる。続く4回、星槎国際・福岡中央は緊急登板となった荻崎2番手菊地を攻め四球を足がかりに5点を奪うと、5回にも打者11人の猛攻で7点を奪い試合を決めた。4回から遊撃を守った結城(淳)が好守備を連発し、荻崎に追加点を許さなかった星槎国際・福岡中央が5回コールド15-2で勝利した。一方敗れた荻崎は3番菊地が3打数3安打の固め打ちを見せ、チームも相手を上回る5安打を放っていただけに、1点差に迫った場面での主戦の負傷交代が何とも悔やまれる結果となってしまった。しかしながら最後まで一丸となって戦う姿には大変好感が持たれた。

■試合時間 1時間47分 ■備考 7回コールド

■審判 球審:田島 塁審:大和 清水 大道

[illegible]

丸亀

[illegible]

備考

■バッテリー

投手
芳 地 和 人
岩 崎 光太郎
芳 地 和 人

捕手

捕手
長尾 颯 人

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
芳 地 和 人	4	22	2	3	9	5
岩 崎 光太郎	1	7	2	0	1	2
芳 地 和 人	1	5	1	0	1	1

戸塚

[illegible]

備考

■バッテリー

投手
吉田李紅

捕手

捕手
鈴 野 豊

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
吉 田 李 紅	7	27	2	8	2	1

■戦評

1回戦府中球場の第1試合は、18年ぶり2回目出場の四国地区代表・香川県立丸亀高校と6年連続7回目出場の神奈川県代表・横浜市立戸塚高校の対戦となった。丸亀は初回、四球で出塁した2番濱野が二盗を決めて好機を作ると3番芳田の安打に敵失が重なり1点を先制する。序盤から好機を作るも得点に恵まれずいた戸塚は4回、4連続四死球で同点に追いつくと一死後1番橋本の打席で捕追により1点を勝ち越す。なお二三塁の好機に橋本が中堅越の3点ランニング本塁打を放ちこの一回挙5点を奪い逆転に成功する。勢いに乗った戸塚は5回到9番森松の2点適時安打で追加点を奪うと6回到に暴投で1点を加え試合を決めた。先発の吉田が2回以降丸亀打線に無安打に抑え三塁さえ踏ませない圧巻の投球を見せた戸塚が7回コールド8－1で勝利した。一方敗れた丸亀は11四死球と投手陣が制球に苦しみ本来の力を発揮できず、無念の敗戦となった。

埼玉県立川越工業高校 対 神戸市立楠高校

■ 試合時間 2時間23分 ■ 備考

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9							計	安	失
川越工業	埼玉	0	0	0	1	0	1	0	0	2							4	5	6
楠	兵庫	0	0	0	0	2	2	0	1	×							5	5	6

ポジション					氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9								
1	遊		投		吉 満 尚 毅	4	2	1	0	一邪			三失		左2		中飛									
2	二				栗 林 佑 哉	3	0	0	0	三失			三振		捕犠		三振									
3	投	三	遊		後 藤 裕 基	4	1	2	1	二飛			右安		投ゴ				左2							
4	三	投	三		安 藤 航	3	1	1	1		中飛		三失		四球			左2								
5	捕				中 村 剛	4	0	0	0		投ゴ		三振		三振				遊ゴ							
6	一				笠 原 直 樹	4	0	0	0		二ゴ		三振			三振			三振							
7	右				江 良 洋 介	3	0	0	0			三振		三振		投ゴ			四球							
7	打			走	軽 部 宣 生	0	0	0	0																	
8	左				程 島 台 也	4	0	1	0			三振		三振		三振		中安								
9	中				石 原 直 希	4	0	0	0			三振		三振			三振	三振								
					合計	33	4	5	2	残塁:5 併殺:0																
									備考																	

投手
後藤 裕基
安藤 航
吉満 尚毅

捕手
中村 剛

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
後 藤 裕 基	6	31	4	5	5	1
安 藤 航	1	4	0	1	1	0
吉 満 尚 毅	1	6	1	1	2	0

[illegible]

投手
飯島敦哉

捕手
萱野 登希也

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
飯 島 敦 哉	9	36	5	16	2	1

1回戦府中球場の第2試合は、2年ぶり3回目出場の埼玉県代表・県立川越工業高校と2年ぶり3回目出場の兵庫県代表・神戸市立楠高校の対戦となった。3回まで完全に抑えられていた川越工業は4回敗失で出塁した1番吉満を三塁に置き3番後藤の右前適時安打で1点を先制する。一方4回まで毎回得点圏に走者を進めながら無得点に終わっていた楠は5回無死二塁の好機に3番平入が左翼越逆転本塁打を放つ。続く6回表川越工業はこの回先頭の1番吉満が二塁打で出塁すると楠打と暴投により生還し同点に追いつく。しかしその裏楠は二死満塁から3番平入が今度は2点適時安打を放ち再びリードを奪うと8回にも1点を追加する。粘る川越工業も9回3番後藤4番安藤の連続二塁打などで1点差に迫るが反撃もここまで。先発飯島が16奪三振の力投を見せた楠が5-4で逃げ切り勝利した。一方敗れた川越工業は無得点の回が全て三者凡退と好機を作れず、無念の敗戦となった。

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9						計	安	失
クラーク仙台・通	南東北・宮城	0	2	0	1	2	0	0	0							5	4	3
クラーク広島・通	西中国・広島	0	0	0	2	1	1	3	5x							12	10	2

ポジション					氏名										打 得 安 点										1 2 3 4 5 6 7 8 9										ポジション				
1	遊				ポ ジ シ ョ ン 変 更 の 続 き は 右 欄 へ	村 田 高 彬	4	1	0	0	一飛		投ゴ		四球	三振		捕邪				ポ ジ シ ョ ン 変 更 の 続 き																	
2	左					山 田 真 由	2	1	0	0	投ゴ		三振		四球		死球																						
3	一					船 津 熙 人	4	0	2	1	右安		三振		遊選		中安																						
4	捕					畑 山 拓 人	3	0	0	0	三振			捕飛	死球		捕邪																						
5	中					八 森 夢 希	4	1	1	0		左安		三邪	遊飛		三振																						
6	投					幾 島 健 太	2	2	0	0		四球		四球	一邪		三振								二		投												
7	右					新 井 稔里衣	1	0	0	0		三振																											
7			打	右		佐 藤 大 貴	3	0	1	0				左2		遊失		遊飛																					
8	二					松 本 喜 彦	3	0	0	1		一ゴ		振逃		三振		四球							三	投	右												
9	三					堀 越 祐 希	0	0	0	0																													
9		三			三 條 烈	4	0	0	0		二ゴ			三振	三振		三ゴ						投	三															
					合計	30	5	4	2	残塁:8 併殺:1																													
										備考																													

投手
幾島健太
三條烈
佐藤大貴
幾島健太

捕手
畑 山 拓 人

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
幾 島 健 太	4 1/3	21	4	2	3	2
三 條 烈	2 1/3	15	2	2	7	4
佐 藤 大 貴	0 2/3	8	3	0	3	3
幾 島 健 太	0 1/3	1	0	0	0	0

ポジション					氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9							
1	捕				横 畑 翔 吾	4	0	0	0	二飛		三振		遊ゴ	死球	一邪									
2	遊	投			砂 川 弘 樹	2	2	0	0	三飛		投ゴ		四球	四球		四球								
3	投	遊			石 原 幹 太	5	1	3	1	中安		三ゴ		左2	三振		右安								
4	三				山 本 優 樹	3	2	2	0	遊安			左2	三振		四球	四球								
5	左				中 村 太 紀	4	1	0	0	投ゴ			四球	一ゴ		三併	捕邪								
6	一				荒 木 陸	3	2	2	3		三振		左安		死球	四球	左2								
7	右				細 見 幹 明	4	1	1	1		中飛		一ゴ		二ゴ	四球	遊安								
7			走		山 口 弘 尊	0	1	0	0																
8	二				中 川 裕 太	3	2	0	0		右飛		二直		投ゴ	死球	死球								
9	中				三 上 優 誠	4	0	2	4			四球	遊飛		左安	左2	三ゴ								
					合計	32	12	10	9	残塁:10 併殺:0															
						備考																			

投手
石原幹太
砂川弘樹

捕手
横 畑 翔 吾

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
石 原 幹 太	5	24	3	6	5	4
砂 川 弘 樹	3	13	1	5	2	0

- 7 -

キラリ高校・通 対 岡山県立岡山操山高校・通

■試合時間 2時間18分 ■備考

■審判 球審：山田 塁審：菊池 山下 藤川

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9						計	安	失
岡山操山・通	東中国・岡山	0	0	3	0	0	0	1	1	2						7	6	1
キラリ・通	山静・静岡	0	0	0	0	0	1	0	0	1						2	1	2

岡山操山・通

[illegible]

備考

■ バッテリー

投手
難波龍斗
吉澤響

捕手

捕手
岡 本 佑 斗

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
難波 龍斗	6	21	0	9	2	0
吉澤 響	3	12	1	5	2	1

キラリ・通

ポジション					氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9								
1	二				原 野 拓 巳	3	0	0	0	三振			投ゴ		死球			三振								
2	遊				絹 村 希 望	4	1	1	0	一邪			右飛		三ゴ			投安								
3	三				絹 村 拓 海	3	0	0	0	三振			三振		投ゴ			四球								
4	一				村 松 寛 昌	4	0	0	0		二ゴ			三振		三振		三ゴ								
5	中				原 田 温 和	3	0	0	0		三振			二飛		右飛		四球								
6	捕				山 口 未 来	4	0	0	0		三振			遊ゴ		三振		遊飛								
7	左				山 本 海 斗	2	1	0	0			三振			四球		投ゴ									
8	投				服 部 純 尚	3	0	0	0			投ゴ			三失		三振									
9	右				佐 藤 有 馬	3	0	0	0			三振			三振		三振									
					合計	29	2	1	0	残塁:4 併殺:1																

備考

■ バッテリー

投手
服部純尚

捕手

捕手
山口 未来

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
服部 純 尚	9	40	6	9	7	6

■戦評

1回戦葛飾スポーツセンターの第1試合は、初出場の山静地区代表・静岡県カリリ高校・通信制と2年ぶり10回目出場 of 東中国地区代表・岡山県立岡山操山高校・通信制の対戦となった。試合が動いたのは3回。岡山操山は連続死球を足がかりに2番遠藤の2点適時二塁打などで3点を先制する。5回まで1人の走者も出せずにいたカリリは6回先頭の山本が四球で出塁をすと敵失の間に一番に本塁まで生還し1点を返す。引き離した岡山操山は7回飛翔により1点を奪うと8回には7番岡崎の適時二塁打で1点、9回には3番難波の適時二塁打などで2点と小刻みに追加点をあげる。粘るカリリも9回裏に内野安打で出塁した稲村(優)が隙の無い走塁を見せ二つのバッテリーエラーにより生還するものの後続が断たれ試合終了。岡山操山が7ー2で勝利した。一方敗れたカリリは岡山操山の継投の前に1安打14三振と打線がふるわず、無念の敗戦となった。

さくら国際高校・通 対 京都府立朱雀高校

■試合時間 1時間59分 ■備考 8回コールド

中断13分(治療)

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8									計	安	失
さくら国際・通	信越・長野	1	0	0	0	0	2	0	0									3	5	2
朱雀	京都	2	0	0	1	5	1	0	1x									10	12	0

さくら国際・通

[illegible]

備考

■バッテリー

投手
若林 寿 企
鈴 木 幹 太
若林 寿 企

捕手

捕手
滝沢大智

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
若 林 寿 企	4 1/3	19	4	2	4	4
鈴 木 幹 太	1 2/3	13	4	1	3	1
若 林 寿 企	1 0/3	7	4	0	1	1

朱雀

ポジション					氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	5	6	7	8	9						
1	中				上 東 和 弥	3	3	2	0	遊飛		四球		遊安		死球		中2							
2	遊				堤 玲 雄	4	2	2	0	左2		二ゴ		四球		三振		三安							
3	投				木 村 公 紀	3	1	2	2	四球		一ゴ		右犠		左安		遊安							
4	捕				騎 馬 龍 吾	4	1	2	1	中安			左飛	三失		三安									
4			右		西 村 和 良	0	0	0	0																
5	左				池 田 将 太	4	1	1	1	三飛			三振	右安		投ゴ									
6	一		捕		坂 井 柊 斗	2	1	1	2		三振		四球	左3			死球								
7	右		一		岡 本 八 斗	2	0	1	0		遊ゴ		死球	死球			中安								
8	二				荒 井 建 輝	3	1	1	0		投飛			左安	遊直										
8		二			川 崎 柚 希	1	0	0	0								投ゴ								
9	三				江 上 安 楠	3	0	0	0			投飛		投犠		一ゴ	投飛								
合計						29	10	12	6	残塁:8 併殺:0															

備考

■バッテリー

投手
木村公紀

捕手

捕手
騎馬龍吾
坂井柊斗

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
木村公紀	8	32	5	10	3	3

■戦評

1回戦葛飾スポーツセンターの第2試合は、3年ぶり3回目出場の新潟県代表・長野県さくら国際高校・通信制と2年連続13回目出場の京都府代表・府立朱雀高校の対戦となった。先攻のさくら国際は初回1番大久保が死球で出塁すると内野ゴロと盗塁により三塁に進み暴投の間に先制のホームを踏む。そして朱雀もその裏2番堤が二塁打で出塁すると盗塁と暴投で同点に追いつく。なお一死三塁から4番騎馬が適時安打を放ちすぎさま逆転に成功する。4回にも1点を追加した朱雀は5回打者一巡の猛攻で一挙5点を奪い8-1と点差を広げる。追いかけるさくら国際は6回二死二塁の好機で5番所の右前適時安打と6番土屋の右翼越適時三塁打で2点を返したが、6回8回に朱雀に1点ずつを奪われ万事休す。12安打で10得点を奪った朱雀が8回コールド10-3で勝利した。一方敗れたさくら国際は朱雀先発木村の前に敗戦5安打10三振に抑えられ、無念の敗戦となった。

佐賀県立佐賀北高校・通 対 岡山県立岡山操山高校・通

■試合時間 1時間51分 ■備考 5回コールド

■審判 球審:大和 塁審:遠藤 東原 小山

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9							計	安	失
佐賀北・通	西九州・佐賀	0	0	0	0	0											0	4	3
岡山操山・通	東中国・岡山	12	1	9	2	×											24	10	3

佐賀北・通

[illegible]

備考

■ バッテリー

投手
園田 輝
江頭 潤 宣
加茂 健 人

捕手

捕手
中島 彬

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
園 田 輝	1	16	6	2	7	10
江 頭 潤 宣	1 2/3	15	2	2	9	9
加 茂 健 人	1 1/3	9	2	2	3	3

岡山操山・通

[illegible]

備考

■ バッテリー

投手
難波龍斗
吉澤響

捕手

捕手
岡 本 佑 斗

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
難波 龍斗	3	12	2	3	0	0
吉澤 響	2	11	2	3	3	0

■ 戦評

2回戦神宮球場の第1試合は3年ぶり3回目出場の西九州地区代表・佐賀北高校・通信制と1回戦を投打がかみ合い快勝した岡山操山高校・通信制の対戦となった。岡山操山は初回無死二三塁から3番難波の2点適時二塁打で先制すると8番岡本の2点適時安打や9番足立の適時二塁打、2番遠藤の左翼越2点本塁打など打者16人の猛攻で計12点を奪うと2回にも犠飛により1点を追加する。攻撃の手を緩めない岡山操山は3回相手のミスを逃さない好走塁を重ね今度は打者11人で9点を奪った。一矢報いたい佐賀北は5回先頭の代打平松が安打で出塁すると続く2番野瀬も四球を選び好機を作ったが、後続が断たれ試合終了。4回にも2点を奪った岡山操山が5回コールド24ー0で勝利し、ベスト8に進出した。一方敗れた佐賀北は初回2番野瀬が二塁打を放ち迎えた先制機に得点を奪えず、守っては投手陣が初戦の緊張感から19回死球と本来の力を発揮できなかったことが、何とも悔やまれる結果となった。

京都府立朱雀高校 対 秋田県立秋田明德館高校

■試合時間 1時間35分 ■備考 7回コールド

中断2分

[illegible]

朱雀

[illegible]

備考

■ バッテリー

投手
木村公紀

捕手

捕手
騎馬龍吾

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
木 村 公 紀	6 2/3	33	6	5	7	5

秋田明德館

[illegible]

備考

■ バッテリー

投手
阿 部 和 行

捕手

捕手
安部 泰地

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
阿 部 和 行	7	25	2	8	2	1

■ 戦評

2回戦神宮球場の第2試合は、1回戦をコールドで制した京都府立朱雀高校と2年ぶり4回目出場の北東北地区代表・秋田県立秋田明徳館高校の対戦となった。先攻の朱雀は初回一死三塁から3番木村の内野ゴロで1点を先制する。その裏秋田明徳館も一死三塁から3番安部が犠牲を放ちすぎずまた同点に追いつく。同点のまま迎えた3回、秋田明徳館は二死から内野安打と盗塁で好機を作ると4番佐々木が適時三塁打を放ち相手の守備が乱れる間に自身も生還し2点を勝ち越す。流れをつかんだ秋田明徳館は5回相手のミスを逃さず2点を追加すると7回には6番吉田の適時二塁打などで3点を奪い試合を決めた。投げては先発阿部が低めを中心に制球よく投げ込み相手打線を散発の2安打に抑え7回コールド8―1で勝利し、ベスト8に進出した。一方敗れた朱雀は1回戦の疲れからか投打ともに精彩を欠き、無念の敗戦となった。

沖縄県立コザ高校 対 神戸市立楠高校

■試合時間 2時間33分 ■備考 8回コールド

[illegible]

■ バッテリー

捕手
萱野 登希也

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
飯 島 敦 哉	5	20	4	10	3	1
坂 口 龍之介	3 1/3	14	1	8	3	0
飯 島 敦 哉	0 2/3	2	0	1	0	0

■ バッテリー

捕手
座間味 政 之

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
仲 程 翔	5	26	2	3	8	4
名 城 瑠 星	4	19	3	2	4	1

■ 戦評

- 12 -

クラーク記念国際高校・広島・通 対 星槎国際高校・東京・通

■試合時間 2時間16分 ■備考 7回コールド

■審判 球審:竹本 塁審:小山 菊池 山下

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9							計	安	失
星槎国際東京・通	東京2	1	0	0	0	1	2	0									4	8	5
クラーク広島・通	西中国・広島	0	0	0	8	3	0	×									11	11	0

星槎国際東京・通

[illegible]

備考

■ バッテリー

投手
秦 啓一郎

捕手

捕手
尾形 太陽

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
秦 啓一郎	6	38	11	7	4	4

クラーク広島・通

[illegible]

備考

■ バッテリー

投手
石原幹太
山本優樹
砂川弘樹

捕手

捕手
横 畑 翔 吾

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
石 原 幹 太	5	24	7	5	2	2
山 本 優 樹	0/3	3	0	0	3	2
砂 川 弘 樹	2	9	1	2	3	0

■ 戦評

2回戦神宮球場の第4試合は、1回戦を終盤の集中打によりコールドで制したクラーク記念国際高校・広島・通信制と初出場の東京都第2代表・星槎国際高校・東京・通信制の対戦となった。先攻の星槎国際・東京は初回、1番大沢が開始直後の初球をとりえ三塁打を放つと続く2番桑の内野ゴロの間に生還し1点を先制する。1ー0のまま迎えた4回裏クラーク記念国際・広島は二つの敵失により一死一三塁とし1番石原の2点適時二塁打で逆転に成功し流れをつかむと、その後4番の安打に相手のミスも重なりこの一回一挙8点を奪う。点差を詰めた1星槎国際・東京は5回二死から3番種藤が右翼スタンドに本塁打を放ち1点を返すと6回にも2点を返したが反撃もここまで。5回に4番山本の適時二塁打などで3点を追加したクラーク記念国際・広島が7回コールド11ー4で勝利し、ベスト8に進出した。一方敗れた星槎国際・東京は5失策と守備が乱れ、そのうち四つを記録した4回の守りが何とも悔やまれる結果となった。

横浜市立戸塚高校 対 クラーク記念国際高校・札幌・通

■試合時間 1時間42分 ■備考 7回コールド

■審判 球審:若山 塁審:田島 山田 谷川

[illegible]

クラーク札幌・通

[illegible]

備考

■ バッテリー

投手
室 山 仁

捕手

捕手
岩本剛太

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
室 山 仁	6	33	8	3	3	5

戸塚

[illegible]

備考

■ バッテリー

投手
吉田 李紅

捕手

捕手
鈴 野 豊

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
吉 田 李 紅	7	26	3	5	5	0

■ 戦評

2回戦大田スタジアムの第1試合は、共に1回戦をコールドで勝ち上がった横浜市立戸塚高校とクラーク記念国際高校・札幌・通信制の対戦となった。2回に1点を先制した戸塚は4回、3本のバント安打で満塁の好機を作ると敵失と内野ゴロにより2点を追加し試合を優位に進める。対するクラーク記念国際・札幌は2回5番斎藤の二塁打で好機を作ると後続が断たれ無得点に終わると、3回は三つの四球で4回には7番井上の安打と四球で好機を作るが攻撃が噛み合わず得点を奪えない。点差を広げた戸塚は5回5番吉田の適時安打と6番横尾のスライズ(記録は犠打野選)で2点を奪うと6回に2番高橋のスライズなどで2点を取り試合を決めた。戸塚先発吉田は要所を抑える投球で最後まで得点を与えず、7回コールド8-0で勝利し、ベスト8に進出した。一方敗れたクラーク記念国際・札幌は再三得点圏に走者を進めただけに両軍の攻撃の幅が明暗を分ける形となり、無念の敗戦となった。

千葉県立市川工業高校 対 宮崎県立宮崎東高校・通

■試合時間 1時間36分 ■備考 6回コールド

[illegible][illegible]

備考

投手
澤 井 大 樹
藤 丸 優 斗

捕手
鴻野 央行

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
澤 井 大 樹	5	27	0	6	10	2
藤 丸 優 斗	0/3	7	2	0	5	4

[illegible]

備考

投手
近藤真澄

捕手
菅原優人

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
近 藤 真 澄	6	23	1	8	2	0

2回戦大田スタジアムの第2試合は、1回戦を10安打9得点の猛攻で打ち勝った千葉県立市川工業高校と3年連続5回目出場の大田地区代表・宮崎県立宮崎東高校・通信制の対戦となった。市川工業は初回三つの四球で満塁とするなど捕逸により1点を先制する。対する宮崎東は3回先頭の1番藤丸がチーム初安打で出塁したが後続が打ち取れ無得点に終わる。その裏市川工業は三つの四死球と暴投、敵失により宮崎東が4点を奪うと、5回にも四球で出塁した走者が暴投により生還し1点を追加する。続く6回市川工業は4番相模の2点適時安打などで4点を加え10点差とし試合を決めた。投げたのは先発近藤がテンボの良い投球で宮崎東打線を1安打に抑えた市川工業が6回コールド10-0で勝利し、ベスト8に進出した。一方敗れた宮崎東は15四死球に七つのバッテリーエラーと守りのリズムに完全に欠け無念の敗戦となった。

群馬県立前橋清陵高校 対 星槎国際高校・福岡中央・通

■試合時間 1時間51分 ■備考

■審判 球審:谷川 塁審:若山 田島 山田

[illegible]

星槎國際福岡中央・通

ポジション					氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9										
1	遊				結城 淳司	4	1	1	0	一ゴ		振逃			左2	右飛												
2	三				宮崎 克弥	3	0	0	0	三振		三振			投犠	投飛												
3	捕				稲葉 真秀	4	0	1	1	三振			投ゴ		右2		一ゴ											
4	二				結城 涼司	3	0	0	0		三振	死球			三振		三振											
5	左				木下 聖典	3	1	0	0		死球	三振			投ゴ		三振											
6	一				斉藤 光希	4	2	2	2	中本		遊ゴ				三失		右2										
7	中				塚本 幸太	4	1	1	0		三振			三振		三安		三振										
8	右				原田 紘太	4	0	0	0		三振			三振		三振		三振										
9	投				岡部 智也	4	0	1	2			二飛		左飛		中安		遊ゴ										
					合計	33	5	6	5	残塁:4 併殺:0																		

備考

■ バッテリー

投手
岡部智也

捕手

捕手
稲葉真秀

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
岡 部 智 也	8	39	8	6	1	2

前橋清陵

[illegible]

備考

■ バッテリー

投手
藤田 真也

捕手

捕手
有澤 謡 祐

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
藤 田 真 也	9	36	6	16	2	4

■ 戦評

2回戦大田スタジアムの第3試合は、初出場の北関東地区代表・群馬県立前橋清陵高校と1回戦をコールドで勝ち上がった星槎国際高校・福岡中央・通信制の対戦となった。初回に1点を先制された星槎国際・福岡中央は2回6番斉藤が右中間へ逆転となる2点ランニング本塁打を放つ。その裏前橋清陵は三つの敵手を逃さず3点を取り4ー2とし、試合の主導権を渡さない。再び試合が動いたのは6回、星槎国際・福岡中央が3番稲葉の適時安打で1点差に迫ると続く7回9番岡部の2点適時安打により再びリードを奪う。あきらめない前橋清陵はその裏3番藤田の適時三塁打で同点に追いつくと4番石井の適時安打で逆転、6番伊野の適時二塁打でさらにもう1点追加する。粘る星槎国際・福岡中央も9回先頭の斉藤が二塁打で出塁するも後続が打ち取られ万事休す。7ー5で前橋清陵が競り勝ち、ベスト8に進出した。一方敗れた星槎国際・福岡中央は先発岡部が粘投するも7失策と野手陣が足を引っ張る形となり、無念の敗戦となった。

愛知県立愛知工業高校 対 天理高校

■試合時間 2時間13分 ■備考 7回コールド

■審判 球審:栗村 塁審:松山 濱野 清水

[illegible]

愛知工業

[illegible]

備考

■ バッテリー

投手
前田 紅 麗
吉 井 巧
伊 藤 涼 太
横 井 翼

捕手

捕手
伊藤 将宏

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
前 田 紅 麗	2	9	1	1	1	1
吉 井 巧	0 2/3	6	1	1	2	0
伊 藤 涼 太	1 1/3	10	4	0	1	4
横 井 翼	2	10	1	3	4	2

天理

[illegible]

備考

■ バッテリー

投手			
森	口	晴	信
浅	井	幸	喜
森	口	晴	信

捕手

捕手
三好完太

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
森 口 晴 信	5 2/3	19	1	5	1	0
浅 井 幸 喜	2/3	7	0	0	4	0
森 口 晴 信	1 1/3	4	0	2	0	0

■ 戦評

2回戦大田スタジアムの第4試合は、1回戦を延長で制した愛知県立愛知工業高校と10連覇に挑む近畿地区代表・奈良県天理高校の対戦となった。天理は初回先頭の1番山口が四球で出塁するとすかさず二盗を決め、2番西井の犠打、3番森口(晴)の犠飛と隙の無い攻撃で1点を先制する。2回3回にも相手のミスを逃さず1点ずつを追加した天理は4回4番三好の2点ランニング本塁打などで5点を奪い試合を優位に進める。5回到1点を返した愛知工業は6回、この回から救援した天理2番手浅井から押出を含む四つの四死球を選び2点を返したが反撃もここまで。天理は5回到代打山下の適時二塁打で1点を奪い6回には暴投により1点を追加し7点差とし、7回コールド10-3で勝利し、ベスト8に進出した。一方敗れた愛知工業は初回相手のミスによりつかんだ先制機を生かせなかったことが、何とも悔やまれる結果となった。

岡山県立岡山操山高校・通 対 秋田県立秋田明德館高校

■球場 大田スタジアム 第1試合 3回戦 準々決勝 ■試合時間 2時間34分 ■備考

■審判 球審：吉岡 塁審：山田 森井 安田

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9							計	安	失
秋田明德館	北東北・秋田	2	0	0	0	0	0	2	2	3							9	7	4
岡山操山・通	東中国・岡山	2	3	0	1	1	1	0	1	1x							10	13	3

秋田明德館

[illegible]

■バッテリー

投手
阿部 和 行

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
阿 部 和 行	9	40	13	2	3	7

岡山操山・通

[illegible]

■ バッテリー

投手
難波龍斗
吉澤響
遠藤祐毅

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
難波龍斗	4	20	3	6	4	2
吉澤響	4	20	2	6	6	3
遠藤祐毅	1	8	2	0	3	3

■ 戦評

大田スタジアムで行われた準々決勝第1試合は、共に2回戦をコールドで勝ち上がった岡山県立岡山操山高校・通信制と秋田県立秋田明徳館高校の対戦となった。初回到両チーム2点ずつを取り合い同点で迎えた2回裏、岡山操山は7番岡崎の三塁打を足がかりに3点を奪うと4回・5回・6回に1点ずつ加え試合を優位に進める。追いかける秋田明徳館は7回に2点を返すと8回1番阿部が2点適時二塁打を放ち6回・8回・9回に1点ずつ加え試合を逆転する。9回裏に1点を失い3点差で迎えた9回、轡飛により1点を返すと二死ながら満塁の好機に2番佐藤(奏)が左翼前へ適時安打を放ち土壇場で試合を振り出しに戻す。追いつかれた岡山操山は後続を断ちこのピンチを同点で切り抜けたと、その裏先頭の難波が安打と盗塁で好機を作る。ここで4番東山が右翼へ安打を放ち、難波が生還しサヨナラ。両チーム合わせて20安打19得点の乱打戦を10-9で制した岡山操山が準決勝に進出した。一方敗れた秋田明徳館は17盗塁と足を使った攻撃を軸に最後まで粘りを見せただけに、8回9回の一打逆転の好機を生かせなかったことが何とも悔やまれる結果となった。

神戸市立楠高校 対 クラーク記念国際高校・広島・通

■球場 大田スタジアム 第2試合 3回戦 準々決勝 ■試合時間 2時間20分 ■備考

■審判 球審:栗村 塁審:竹本 山田 森井 中断10分

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9							計	安	失
楠	兵庫	0	0	0	1	0	0	0	0	3							4	4	4
クラーク広島・通	西中国・広島	0	0	2	0	0	0	0	0	0							2	5	5

楠																								
	ポジション					氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9					
1	一					坂 口 龍之介	3	1	1	0	四球	投ゴ		二安		三失			四球					
2	二					池 田 風 雅	3	0	0	0	一ゴ	三ゴ		右飛			死球		捕犠					
3	三					平 入 涼	5	1	2	0	投安		三振		遊失		三振		左2					
4	捕					萱 野 登希也	5	0	1	1	三ゴ		三ゴ		三飛		左飛		左2					
5	投					飯 島 敦 哉	4	0	0	0	四球		二飛		左飛		三振		左邪					
6	右					若 林 友 輝	5	0	0	0	投ゴ			遊飛	振逃			三振	一ゴ					
7	中					村 岡 龍 人	3	1	0	0		死球		三失	三振			三振						
8	左					畑 潤 也	3	0	0	0		三振		三犠		捕邪		三振						
9	遊					宮 内 将 太	3	1	0	0		四球		三失		三振			遊失					
合計						34	4	4	1	残塁:11 併殺:0														
										備考														

■バッテリー

投手
飯島敦哉

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
飯 島 敦 哉	9	39	5	10	4	1

クラーク広島・通

[illegible]

■バッテリー

投手
石原 幹太
砂川 弘樹

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
石 原 幹 太	0 0/3	1	0	0	1	0
砂 川 弘 樹	9	41	4	10	5	2

■戦評

大田スタジアムで行われた準々決勝第2試合は、1・2回戦を投手力で勝ち上がった神戸市立楠高校と打撃力で勝ち上がったクラーク記念国際高校・広島・通信制の対戦となった。試合が動いたのは3回裏、クラーク記念国際・広島は9番三上の適時三塁打などで2点を先制するが楠も4回表に二つの敵失から1点を返す。両チーム次の1点を奪えぬまま試合は進み7回裏には雨天により1時間の中断を挟むも、互いに集力方を切らずことなく2ー1のまま最終回を迎える。9回表楠は敵失と四球で無二塁とするさ2番池田が手堅く犠打を決め好機を広げる。続く3番平入の初球が暴投になり二人の走者が生還し逆転に成功すると、3番4番が連続二塁打を放ち貴重な1点を追加する。一転追い込まれたクラーク記念国際・広島もその裏、先頭9番三上が安打で出塁したが、後続が断たれ万事休す。楠が4ー2で勝利し、準決勝に進出した。一方敗れたクラーク記念国際・広島はアケシデントにより1回無死から救援した2番手砂川が好投を続けていただけに8回的好機に追加点を奪えなかったことが何とも悔やまれる結果となった。

■日時 平成28年8月16日(火) ■天候 くもり

横浜市立戸塚高校 対 千葉県立市川工業高校

■球場 江戸川区球場 第1試合 3回戦 準々決勝 ■試合時間 3時間15分 ■備考

■審判 球審:清水 塁審:仲田 菊池 田島

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				計	安	失
戸塚	神奈川	0	0	1	1	0	4	0	1	0	0	0	0				7	10	2
市川工業	千葉	0	1	0	0	0	2	0	1	3	0	0	1x				8	9	1

戸塚																										
	ポジション					氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
1	遊					橋 本 悠 大	6	3	5	2	右安		右3		中安	右安		右安		二ゴ						
2	三					高 橋 一 騎	3	0	0	0	死球		四球		投犠	投飛		二飛				三振				
3	中					中 後 隆 司	2	0	1	4	一犠		投犠		四球	遊安		投犠				遊飛				
4	捕					鈴 野 豊	4	0	1	0	投ゴ		投安		二ゴ		二ゴ	四球				四球				
5	投					吉 田 李 紅	4	1	0	0	三ゴ			死球	投飛		四球		捕邪		投飛					
6	二					横 尾 良 二	4	1	0	0		投ゴ		投犠		死球	二飛		三振			投ゴ				
7	一					ハツカディウオンティリュウ	6	0	1	0		三振		二失		投飛	右安		投ゴ			三ゴ				
8	左					小 山 悟	3	1	1	0		三振		三ゴ		死球	死球			二安		死球				
9	右					松 森 義 延	6	1	1	0			三振	一ゴ		遊安	遊ゴ			投併		三振				
合計							38	7	10	6	残塁:11 併殺:0															
							備考																			

■バッテリー

投手	捕手
吉 田 李 紅	鈴 野 豊

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
吉 田 李 紅	11 2/3	51	9	7	4	5

市川工業																													
	ポジション					氏名					打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
1	二					金 田 皓 平	6	0	1	0	中2		三邪		遊ゴ		二飛				一飛		遊飛						
2	左					猿 田 千 弘	5	1	1	1	三犠		遊飛		三ゴ						三ゴ	左2		投ゴ					
3	三	遊				三 橋 拓 未	4	2	2	2	四球		三振				四球				中安	中安				二ゴ			
4	中					相 模 武	6	2	2	0	一邪			中安		三選					左飛	一飛				中2			
5	捕					菅 原 優 人	5	0	0	0	三振			三振		一ゴ					右失		三振		四球				
6	遊	投				近 藤 真 澄	5	1	1	3		遊失		二ゴ		左3					三ゴ		四球		遊ゴ				
7	一					吉 田 穂	3	0	0	0		四球		四球		三ゴ						遊飛	三振						
8	右					市 原 拓 也	3	0	0	0		三振		遊飛						一ゴ									
8			打	右		中 野 龍 也	2	1	1	0												三安	三ゴ						
9	投	三				宮 下 雷 麻	5	1	1	0		三振			一邪		一邪					右安			二飛				
合計							44	8	9	6	残塁:8 併殺:1																		
							備考																						

■バッテリー

投手	捕手
宮 下 雷 麻	菅 原 優 人
近 藤 真 澄	

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
宮 下 雷 麻	3 1/3	16	3	3	3	1
近 藤 真 澄	8 2/3	38	7	3	8	5

■戦評

江戸川球場で行われた準々決勝の第1試合は、横浜市立戸塚高校と千葉県立市川工業高校の関東勢同士の一戦となった。2回に失策から1点を先制された戸塚は3回、3番中後のスクイズにより同点に追いつくと4回にボークで1点を追加し逆転に成功する。再び試合が動いたのは6回。先攻の戸塚は1番橋本3番中後がそれぞれ2点適時安打を放ち4点を奪う。対する市川工業もその裏6番近藤の2点適時三塁打で2点を返す。8回に両軍1点ずつを加え7-4で迎えた9回市川工業は二死一二塁から2番猿田が二塁打を放ち1点を返す。なお二三塁の好機に3番三橋が2点適時安打を放ち土壇場で同点に追いつく。勢いに乗った市川工業は延長12回、一死一二塁から6番近藤の内野ゴロの間に二塁走者が生還し、サヨナラ。終盤の見事な粘りで延長12回の死闘を制した市川工業が8-7で勝利し準決勝に進出した。一方敗れた戸塚であったが、5犠打と手堅く効果的に得点を奪う攻撃と12回を1人で投げ抜いた主戦吉田の力投は見事であった。

群馬県立前橋清陵高校 対 天理高校

中断34分(雨)

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
森 口 晴 信	3	11	1	2	1	0
岡 田 民 生	2	6	0	3	0	0

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
藤 田 真 也	3 2/3	24	10	1	3	6
有 澤 諤 祐	2 1/3	16	7	0	2	4

■日時 平成28年8月16日(火) ■天候 曇 岡山県立岡山操山高校・通 対 神戸市立楠高校

■球場 大田スタジアム 第3試合 4回戦 準決勝 ■試合時間 1時間50分 ■備考 7回コールド

■審判 球審:松山 塁審:吉岡 安田 栗村 中断16分(雨)

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9								計	安	失
楠	兵庫	1	1	0	0	0	0	1										3	4	4
岡山操山・通	東中国・岡山	3	0	1	6	0	0	×										10	8	3

楠																				
	ポジション				氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	投	一			坂 口 龍之介	3	0	0	0	三振	投飛			二飛						
2	二				池 田 風 雅	3	1	1	0	左2		一邪			左飛					
3	三				平 入 涼	3	0	0	0	三ゴ		三振			三振					
4	捕				萱 野 登希也	3	0	1	1	中3		遊ゴ			三失					
5	一	投			飯 島 敦 哉	3	0	0	0	三振			二ゴ		一飛					
6	右				若 林 友 輝	3	2	2	1		右本		一邪			右3				
7	中				村 岡 龍 人	3	0	0	0		三振		捕飛			二直				
8	左				畑 潤 也	3	0	0	0		三振			三ゴ		三振				
9	遊				宮 内 将 太	3	0	0	0		一失			三振		三ゴ				
合計						27	3	4	2	残塁:3 併殺:0										
						備考														

■バッテリー			■投手成績										
投手			捕手			氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責	
坂 口 龍之介			萱 野 登希也			坂 口 龍之介	3	1/3	23	6	3	4	5
飯 島 敦 哉						飯 島 敦 哉	2	2/3	11	2	2	1	2

岡山操山・通																				
	ポジション				氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	4	5	6	8	9		
1	三				吉澤 響	3	2	0	0	三失	二飛		四球	三ゴ						
2	二				遠藤 祐毅	3	0	0	0	三振	四球		三振		遊ゴ					
3	投				難波 龍斗	4	2	2	0	左安	左飛		左2		三振					
4	一				東山 康平	4	2	1	1	投失	投飛		左3		一飛					
5	中				延原 翔	3	1	1	0	左安		三ゴ	四球			三振				
6	遊				森 大輔	3	2	1	0	遊ゴ		中安	四球			二飛				
7	右				岡崎 亮二	4	0	1	1	一失		三ゴ	中安			投ゴ				
8	捕				岡本 佑斗	3	1	1	2	三振		右安	遊ゴ							
9	左				足立 誠也	2	0	1	2		四球	遊ゴ	中3							
合計						29	10	8	6	残塁:6 併殺:0										
						備考														

■バッテリー			■投手成績									
投手			捕手			氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
難 波 龍 斗			岡 本 佑 斗			難 波 龍 斗	7	27	4	8	0	2

■戦評

準々決勝に引き続き大田スタジアムで行われた準決勝は、準々決勝を二桁得点で打ち勝った岡山県立岡山操山高校・通信制と9回に鮮やかな逆転劇を見せ勝ち上がった神戸市立楠高校の対戦となった。先攻の楠は初回4番萱野の適時三塁打で1点を先制する。対する岡山操山はその裏2本の安打と相手の守備の乱れから3点を奪い逆転に成功する。楠は2回6番若林のランニング本塁打で1点を返す。引き離したい岡山操山は3回7番岡本の適時安打で1点を追加すると続く4回に4番東山と9番足立の適時三塁打など打者10人の攻撃で一挙6点を奪い試合を決めた。3回以降無安打に抑えられていた楠は7回、若林がこの試合2本目となる長打を放ち相手の守備が乱れる間に一気に生還し1点を返したが反撃もここまで。岡山操山が7回コールド10－3で勝利し決勝に駒を進めた。一方最後は大量失点を喫し敗れた楠であったが、数少ない好機を確実に生かし得点を奪い、主戦飯島の投手力を中心に守り勝つ野球は全国三位にふさわしいものであったことは言うまでもないだろう。

千葉県立市川工業高校 対 天理高校

■審判 球審:仲田 塁審:大和 鈴木優 鈴木礼 中断6分(雨)

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
近 藤 真 澄	9	50	12	3	8	6

岡山県立岡山操山高校・通 対 天理高校

■球場 江戸川区球場 第1試合5回戦 決勝戦 ■試合時間 2時間45分 ■備考

■審判 球審:竹本 塁審:仲田 安田 鈴木優 中断2分(治療)

[illegible]

岡山操山・通

[illegible]

■バッテリー

投手
難波龍斗
吉澤響

捕手

捕手
岡 本 佑 斗

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
難波 龍斗	4 2/3	30	12	2	7	4
吉澤 響	3 1/3	12	0	0	1	0

天理

ポジション					氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9							
1	右				峪口 宥人	4	2	2	1	二飛		中安	左2	四球		二失									
2	三	遊			岡田 民生	2	2	1	2	四球		四球	四球	一安		遊ゴ									
3	投				森口 晴信	5	1	4	4	左安		右安	左安	左2		左飛									
4	捕				三好 完太	3	0	1	1	一邪		左安		死球	四球			投ゴ							
5	遊	二			西井 太旨	4	1	2	0	四球		左安		右安	左飛			投飛							
6	一				刑部 雅史	5	1	1	0	左安		三振		三失		投ゴ		一邪							
7	中	三			森口 信宏	4	1	1	0		投邪	投ゴ		左2		三邪									
8	二				畦越 純	4	0	0	0		二ゴ		左直	反打		投ゴ									
8		中			大江 治義	0	0	0	0																
9	中	左			石井 俊	3	1	0	0		一ゴ		三振	四球			三ゴ								
合計					34	9	12	8	残塁:9 併殺:0																
備考																									

■バッテリー

投手
森 口 晴 信

捕手

捕手
三 好 完 太

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
森 口 晴 信	9	43	8	10	7	2

■ 戦評

台風の影響により試合開始を午後繰り下げて行われた63回大会の決勝戦は共に強力な攻撃陣の活躍により決勝まで勝ち上がってきた岡山県立岡山操山高校・通信制と天理高校の対戦となった。1回裏天理は3番森口(晴)の適時安打により1点を先制する。対する岡山操山は3回1番吉澤2番遠藤が連打で好機を作ると4番東山の内野ゴロにより同点とし続(5番延原の適時安打により逆転に成功する。今大会初めてリードを許した天理はその裏、森口(晴)と三好の連続適時安打ですぐさま試合をひっくり返すと、5回に連投の疲れの見える岡山操山主戦難波を攻め2番岡田の2点適時安打など打者11人の猛攻で6点を追加し点差を大きく広げる。反撃したい岡山操山であったが8回に遠藤の適時安打により2点を返すのがやっと。天理主戦森口(晴)は9回を投げ抜き、最後は途中出場の梶建を三振に抑えるとマウンドに歓喜の輪ができた。投打の軸である森口(晴)、三好を中心に毎試合二桁安打の強力打線でもを圧倒した天理が連覇の数に二桁「10」の大会に乗せるとともに、優勝監督である藤田氏が教え子たちの手によって10度目を舞い4日間の熱戦は幕を下ろした。一方惜しくも準優勝に終わった岡山操山であったが、主将東山を中心に上位から下位まで切れ目のない強力打線で大量点を取りに行く野球は全国二位にふさわしく、その戦いで優勝した天理同様に大会を大いに盛り上げたことを最後に記しておく。

◆歴代優勝校・準優勝校・三位校◆

回数	年度	優 勝 校	スコア	準 優 勝 校	三 位	三 位	大会出場校数
1	29	第三商毛利分(東京)	7-0	鹿沼農商(栃木)	前橋工(群馬)	沼垂(新潟)	6
2	30	高萩(茨城)	2-0	宇都宮工(栃木)	北園(東京)	沼垂(新潟)	8
3	31	紅葉川(東京)	3-0	沼津工(静岡)	前橋工(群馬)	日立二(茨城)	11
4	32	宇都宮工(栃木)	1-0	新潟市工(新潟)	木更津二(千葉)	高崎商(群馬)	10
5	33	花巻南(岩手)	3-0	青森商(青森)	富岡高吉井分(群馬)	日川(山梨)	13
6	34	法政第二工(神奈川)	5-1	高松(香川)	前橋商(群馬)	秋田工(秋田)	15
7	35	矢板(栃木)	2-0	洛北(京都)	清陵(和歌山)	船橋(千葉)	16
8	36	八王子工(東京)	1-0	桐生(群馬)	長生(千葉)	新潟市工(新潟)	17
9	37	甲府商(山梨)	5-3	秩父農工皆野分(埼玉)	掛川東(静岡)	桐生(群馬)	20
10	38	八王子工(東京)	1-0	富士(静岡)	黒沢尻工(岩手)	福山誠之館(広島)	21
11	39	倉敷市工(岡山)	2-0	足利工(栃木)	田名部(青森)	福山誠之館(広島)	20
12	40	倉敷市工(岡山)	2-1	鏡ヶ岡(新潟)	昭和第一工(東京)	木更津東(千葉)	23
13	41	足利工(栃木)	2-1	奈良商工(奈良)	田名部(青森)	新居浜工(愛媛)	29
14	42	黒沢尻工(岩手)	3-2	東海大実(静岡)	広島工(広島)	鏡ヶ岡(新潟)	32
15	43	東海大実(静岡)	5-2	鏡ヶ岡(新潟)	伏見工(京都)	西仙北(秋田)	34
16	44	東海大実(静岡)	4-1	足利工(栃木)	松山東・通(愛媛)	鏡ヶ岡(新潟)	37
17	45	東海大実(静岡)	4-1	東大寺学園(奈良)	因島(広島)	八幡中央(福岡)	31
18	46	湘南・通(神奈川)	1-0	二ッ井(秋田)	千葉工(千葉)	東海大実(静岡)	30
19	47	湘南・通(神奈川)	7-0	長岡工(新潟)	二ッ井(秋田)	小野田工(山口)	30
20	48	岡谷竜上(長野)	4-0	安達東(福島)	高松・通(香川)	杜陵(岩手)	39
21	49	湘南・通(神奈川)	7-4	嘉徳(北九州・福岡)	下関西(西中国・山口)	足立(東京)	29
22	50	科技工・豊田・通(愛知)	10-0	高崎工(北関東・群馬)	松江北・通(西中国・島根)	延岡第二(東九州・宮崎)	29
23	51	松江北・通(西中国・島根)	2-1	湘南・通(神奈川)	足立(東京)	高松・通(四国・香川)	29
24	52	長雨のため中止					28
25	53	高松・通(香川)	3-1	湘南・通(神奈川)	刈谷東(愛知)	小山(栃木)	40
26	54	湘南・通(神奈川)	4-0	嘉徳(福岡)	高松・通(四国・香川)	宇都宮工(北関東・栃木)	28
27	55	松江北・通(西中国・島根)	3-1	科技高・小倉・通(福岡)	湘南・通(神奈川)	高松工芸(四国・香川)	29
28	56	熊本工(西九州・熊本)	2-1	沼田(北関東・群馬)	松江北・通(西中国・島根)	横浜平沼・通(神奈川)	28
29	57	松江北・通(西中国・島根)	3-2	湘南・通(神奈川)	竜ヶ崎第一(茨城)	別海(北海道)	29
30	58	科技高・川崎・通(神奈川)	6-3	国泰寺(広島)	大崎(長崎)	天理(奈良)	44
31	59	科技高・川崎・通(神奈川)	9-1	蔵(埼玉)	那覇商(沖縄)	延岡第二(東九州・宮崎)	29
32	60	科技高・川崎・通(神奈川)	1-0	科技高・日進・通(愛知)	東(東京1)	竜ヶ崎第一(茨城)	29
33	61	天理(奈良)	4-1	県陽(埼玉)	松坂工(三岐・三重)	鳴門(四国・徳島)	29
34	62	科技高・川崎・通(神奈川)	3-2	高知工(四国・高知)	天理(奈良)	九州商・浜松・通(静岡)	29
35	63	科技高・川崎・通(神奈川)	1-0	天理(奈良)	高松・通(香川)	松坂工(三重)	45
36	元	筑紫丘(福岡)	7-1	那覇商(沖縄)	工芸(東京2)	科技高・川崎・通(神奈川)	29
37	2	筑紫丘(福岡)	3-1	秋田中央(西奥羽・秋田)	科技高・四日市・通(三岐・三重)	天理(奈良)	29
38	3	天理(奈良)	3-2	松江北・通(西中国・島根)	高知工(四国・高知)	湘南・通(神奈川)	30
39	4	東海工・通(愛知)	1-0	羽田工(東京1)	天理(奈良)	那覇商(沖縄)	30
40	5	足立(東京2)	16-4	四日市工(三重)	福岡(福岡)	綾羽(滋賀)	46
41	6	松江北・通(西中国・島根)	5-2	湘南・通(神奈川)	天理(奈良)	新宿(東京2)	30
42	7	那覇商(沖縄)	13-4	静岡商(静岡)	天理(近畿・奈良)	福岡(福岡)	30
43	8	湘南・通(神奈川)	5-4	天理(京滋奈・奈良)	松江北・通(西中国・島根)	科技高(東京1)	30
44	9	科技高(東京1)	4-0	中央大(東京2)	天理(京滋奈・奈良)	朝霞(埼玉)	31
45	10	湘南・通(神奈川)	8-2	綾羽(滋賀)	国士館(東京2)	東海工・通(愛知)	47
46	11	徳風・通(東海・三重)	2-1	湘南・通(神奈川1)	天理(近畿・奈良)	高知工(四国・高知)	30
47	12	静岡中央(静岡)	2-0	鴨沂(京都)	湘南・通(神奈川)	大宮中央・通(埼玉)	30
48	13	徳風・通(東海・三重)	4-3	静岡中央(静岡1)	科技高(東京1)	湘南・通(神奈川)	30
49	14	湘南・通(神奈川)	4-3	那覇商(沖縄)	淀川工(大阪)	徳風・通(東海1・三重)	30
50	15	湘南・通(神奈川1)	8-0	新宿山吹(東京2)	那覇商(沖縄)	徳風・通(三重)	47
51	16	湘南・通(神奈川1)	3-2	朱雀(京都)	天理(近畿・奈良)	荻窪(東京1)	26
52	17	天理(近畿・奈良)	2-1	湘南・通(神奈川1)	徳風・通(東海・三重)	尼崎工(兵庫)	26
53	18	徳風・通(東海・三重)	11-3	那覇商(沖縄)	錦城(兵庫)	朱雀(京都)	26
54	19	天理(近畿・奈良)	11-4	徳風・通(東海1・三重)	湘南・通(神奈川)	朱雀(京都)	26
55	20	天理(奈良)	1-0	徳風・通(三重)	岡山練山・通(岡山)	杜陵(岩手)	44
56	21	天理(近畿・奈良)	7-1	尼崎工(兵庫)	静岡中央(山静・静岡)	佐世保工(西九州・長崎)	25
57	22	天理(近畿・奈良)	9-3	飛鳥(東京1)	北海道有朋(北海道)	鳥城(東中国・岡山)	25
58	23	天理(近畿・奈良)	9-1	鳥城(東中国・岡山)	朱雀(京都)	静岡中央(山静・静岡)	25
59	24	天理(近畿・奈良)	9-0	静岡中央(山静・静岡)	八王子拓真(東京1)	西宮香風(兵庫)	25
60	25	天理(奈良)	8-1	大宮中央・通(埼玉)	朱雀(京都)	市川工(千葉)	45
61	26	天理(近畿・奈良)	2-0	愛知工(東海・愛知)	市川工(千葉)	師友塾・通(西中国・広島)	25
62	27	天理(近畿・奈良)	7-0	師友塾・通(西中国・広島)	八王子拓真(東京1)	朱雀(京都)	25
63	28	天理(近畿・奈良)	9-4	岡山操山・通(東中国・岡山)	市川工(千葉)	楠(兵庫)	25